

第5号

Look at & Find oneself

デュアル日記

2023年度

デュアル校内研修「プレゼンテーションをつくろう」(9/7実施)

私たち「デュアル生」は、3学期の終わりに「デュアル実習成果発表会」(令和6年3月7日実施予定)にて、1年間の実習の成果をプレゼンテーションします。

その発表会に向けての準備として和歌山信愛女子短期大学の先生方に来校していただき、プレゼンテーションについて教えていただきました。プレゼンテーションの目的やこれから重要視される三要素、計画のポイント、伝えるときのコツなど、沢山のことを学びました。デュアル実習生の6人がさらに詳しく、分かりやすくまとめてくれました。ぜひご一読下さい。 [文：越智悠月(南部中)]

レッスンⅠ

「プレゼンテーション」とは

文：朝日大雅(明洋中)
宇津木希(南部中)

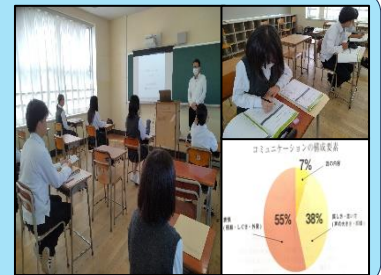
プレゼンテーションを、ジャンル・内容・目的に分けて分析すると次のようになります。

まず、ジャンルは「相手を引き付けるような具体的な情報を伝える」です。

次に、「伝えたい情報を相手に提案すること」が内容の主となります。

最後に目的は、成果の報告等とは異なり、「伝えた情報により相手を説得し、相手自身の行動に変化を起こさせること」。

これがいわゆる「プレゼンテーション」です！



レッスンⅡ

プレゼンを計画するときのポイント

文：畑中友萌(南部中)
古川咲季(高城中)

プレゼンを計画する時のポイントは2つあります。

1つ目は、「誰に」・「何を」・「なぜ？」を明確にすることです。「誰に」とは個人や団体などのターゲットです。次に、「何を」とは、成果や課題点など、伝える内容です。最後に「なぜ？」とは、具体的にどうして欲しいかの、そのために何ができるのか、そのような結論になぜ至ったのかです。

そして2つ目のポイントは、話す順番を序論・本論・結論の3つに分けることです。序論は、タイトルや概要などのことで、本論は、詳細な情報を序論で述べた内容に理由を付けて解説することです。結論は、序論と本論の内容をまとめることです。

レッスンⅢ

良いプレゼンの基となるもの

文：樫山日香(上南部中)
山本真桜(日置中)

良いプレゼンの基となるものには、3つのポイントがあります。何の話かを分かりやすくするために「結論から話し、着地点を明確にする」こと。視覚情報が最も影響を与えるので、写真や動画、グラフ等を表示しながら「イメージを共有」すること。プレゼンをする側の視線やしぐさ(聞き手を見る、腕組をしない等)に気をつけることも大切です。また、PCスライドやフリップ、模造紙など、伝えるための媒体のうち、「一番伝わる方法(媒体)でプレゼンする」ことも重要です！

2学期も「デュアル実習」頑張ります！(9/14～スタート)



1学期に引き続き、毎週木曜、朝から出勤。1日お仕事して「働く」を学びます！